

≡ 二 災害支援講座

2024年1月1日 大規模地震が石川県能登半島を襲いました・・・
生活基盤を失った多くの方が避難所での生活を余儀なくされています。

このような状況の中、石川県より日本医療ソーシャルワーカー協会に避難所等への派遣要請がありました。被災地での支援活動は中長期化されることが予想されています。

今回は能登半島地震において、日本医療ソーシャルワーカー協会が行っている被災地支援についてご紹介させていただきます。



避難所では、行政、医師、看護師、保健師、介護福祉士、子供支援団体など、様々な専門職種チームがそれぞれの専門性を活かし支援を行っています。医療ソーシャルワーカーもこのような支援団体と連携し活動しています。

活動場所

いしかわ総合スポーツセンター
(1.5次避難所)

主な支援内容

- ・現地のニーズ調査
- ・介護保険主治医意見書の作成支援
- ・病院から避難所への受け入れ調整
- ・避難所からご自宅または仮設住宅等への移行支援

など

〈能登半島地震 被害状況〉

死者	233人
負傷者	1,284人
住家被害	16,423棟 内訳：全壊100棟 半壊1518棟 一部破損14,780棟 浸水25棟
避難者数	15,165人
避難所数	457ヶ所
ライフライン	断水 約45,380戸 停電 約4,100戸 ガス 解消 通信 石川県内で影響あり

※1/25 現在 内閣府防災情報のページより

被災地という非日常の場面ではありますが、生活課題の抽出、生活移行に向けた支援、多職種連携など、私たち医療ソーシャルワーカーの視点・スキルが必要となってきます。



私たちが生活する地域でもいつ災害が起こるか分かりません。
皆さんも被災地に対しどのような支援が出来るか考えてみませんか。